

## 令和5年度（2023年度） 入学式 式辞

新入生の皆さん入学おめでとうございます。

本日、本科学生330名、第4学年編入学生1名、第4学年転入学生1名、そして専攻科学生37名が入学する運びとなりました。

若くして技術者の道を選ばれ、本校への入学の栄冠を勝ち得た皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

さて、本校では、「Society 5.0」時代の産業構造の変革に対応した“次世代ものづくり教育”を実現すべく、品川キャンパスの2コースを改編し、特徴ある新たな8コース体制で、皆さんをお迎えしています。第1学年では電気電子、機械、情報の基礎を学び、第2学年より各キャンパス4つ、合計8つのコースに分かれ、それぞれの専門分野について深く学びます。本科卒業後は就職、大学への編入学、専攻科への進学が、そして専攻科修了後は就職、大学院への進学といった、多岐にわたる進路が選べます。

では、皆さんが将来、技術者として活躍する世界はどうなっているでしょうか。新型コロナウイルスによるパンデミックは、あらゆる分野でデジタル化を加速させました。製造現場のデジタル化が進み、遠隔での設計やシミュレーションを可能とする、そんな新しい“ものづくり”が、もう始まっています。また、

IoT技術により、すべてのモノが超高速なネットワークに接続され、リアルタイムで集めたデータを基に、AIを活用して、製造、小売、交通インフラ、医療等の様々な課題を解決する、そんな世界ではないでしょうか。

一方、欧州では、コロナ禍からの復興に加え、将来の「脱炭素経済」と「デジタル経済」に向けて投資を行う「グリーン・リカバリー（緑の復興）」が掲げられ、環境に望ましい製品、サービス、製造工程の確立や、温室効果ガス排出の少ない知識産業の推進を、各国が先導しています。日本では2021年6月に「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長」が策定されています。本校でも、気候非常事態宣言を発出し、Society 5.0に加え脱炭素時代の技術者育成に取り組み始めています。

このように皆さんは、やがて技術者として、デジタル化が益々加速し、かつ「地球環境を保全し、次世代に必要なものを引き継ぎつつ、現代社会の要求に応える」世界で活躍することになります。

そんな未来に対し、新入生の皆さんには、技術を基に“夢”を持ってほしいと願っています。吉田松陰は、「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」と語っています。夢から成功した先輩は多数います。例えば、初代マックintoshに“夢”を感じたある卒業生は独力でアップルに入社し、現在でも

アメリカ・シリコンバレーのGoogle社にて活躍を続けています。

主役は皆さんです。感性を育て、自分で感じ、考える訓練をしてください。自分の知識と発想を広げるため他者との対話も重要です。対話により技術をより深く理解でき、自分の知らなかった新たな側面や応用の広がる面白さを感じ、未来の夢に繋がるかもしれません。

ところで、我々は絶えず小さな事柄を、やる、やらない、と選択して暮らしています。その小さな積み重ねが、やがて人生を方向付けることとなります。皆さんは何を基準に選択していますか。好き、嫌いですか、それとも自分にとって良い、悪いですか。自分にとって良くて、好きならば一番都合良い選択肢ですが、自分にとって悪くても好きなら選択してしまいがちではないですか。もしそうでしたら、是非、嫌なことでも自分のために良い選択肢を、あえて選択できるよう習慣づけをし、夢に向かって小さな積み重ねを続けられる自分を育んでください。

世界は、皆さんの柔軟な発想と行動力による、持続可能な社会の実現を期待しています。本日ここに集った多くの仲間とともに東京都立産業技術高等専門学校という舞台でみなさんが主役になってそれぞれの夢を叶えてください。われわれ教職員は全力で、皆さんを応援します。最後に、皆さんが本校における学生生活を大いに謳歌し、ここに集う学友と共にすばらしい未来を築くことを

祈願して、式辞といたします。

令和5年4月4日

東京都立産業技術高等専門学校

校長 吉澤 昌純